

④ 地域産業・イノベーション・農商工連携

元気がおいしい南房総 女性力を磨く“良い食”起業家プロジェクト

(千葉県南房総市)



女性の起業家候補
144名

取組のねらい

食に関する新商品の開発・マーケティングのノウハウ等を身に付けた女性起業家の育成と継続性ある地域の発展を目指す。

平成20年度の主な取組結果

- ・新商品開発により起業家を育成する「**女性力起業家アカデミー**」を立ち上げ(144名)、地元素材を活かした**試作品を開発**(27品)。
- ・試食会開催・料理の試験提供による**テストマーケティング**を実施し、商品化へ向けて**試作品を絞込み**(12品)。

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

地元素材を活かして商品開発に取り組む**意欲ある女性を起業家として育成**する体制は**先導的・モデル的**であり高く評価できる。製造加工技術やパッケージの開発、販路開拓やプロモーションなど、**試作品の商品化**を進めることにより、22年度以降の本格的な展開が期待できる。

「灰干しプロジェクト」の地域再生全国ネットワーク構築

(東京都三宅村三宅島、岡山県笠岡市笠岡諸島、山形県酒田市飛島)



灰干しの
生産ネットワークの構築

取組のねらい

三宅島の未利用資源(火山灰・豊富な未利用魚種)を高付加価値製品(高級干物「灰干し」として商品化するとともに、全国への販売ルートを開拓、条件不利を克服する地域連携ビジネスモデルを確立する。

平成20年度の主な取組結果

- ・三宅島の火山灰・礫を笠岡諸島で灰干し用火山灰に加工。各地の未利用鮮魚を活用した「**灰干し**」を**試作**し、商店街等と**試食会を開催**。
- ・**生産者と販売者が協働**で、生産体制・品質管理・販売ルート等を検討。

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

未利用の地域資源の相互活用に加えて、**離島間のネットワークを構築**するという**先導的**な取組は、他の島々への**波及効果・相乗効果**を有しており高く評価できる。生産・管理・販売体制を整えるとともに、**販売ルートの確立**を図ることにより、22年度以降の発展的な展開が期待できる。

④ 地域産業・イノベーション・農商工連携

「おんたけ有機構想による、「調和と循環の地域再生」モデル事業」

(長野県木曾町)



都心イベント会場での加工品の試験販売、体験型観光の情報発信

特産品購入・観光客来訪

首都圏へのマーケティング・観光情報発信



特産品開発により商品化されたスイートコーンのゴフレット、スープ



開田高原での体験観光の展開



バイオマスプラント(堆肥生産施設)の検討(視察)

取組のねらい

生産から消費、廃棄物利用までの循環リサイクルのもとに環境負荷の小さい循環型農業を確立し、農業を起点とする新たなビジネスモデルを構築する。

平成20年度の主な取組結果

- ・ 地元農畜産物を活用した**特産品を開発(5品)**。試験販売を経て**本格生産を開始**。
- ・ **特産品販売を首都圏のアンテナショップで展開**。販路拡大とともに観光情報を積極的にPR(体験型観光の情報発信など)。
- ・ バイオマスプラント導入の検討を進め、環境負荷の小さい農業の確立を推進。

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

環境負荷の小さい循環型農業を確立することにより、自然環境の維持、特産品の開発・展開、観光資源化を行い、**農業を起点に様々な分野に波及する新たなビジネスモデル**を創出したという**複合的・先導的**な取り組みである。加工品開発やバイオマスプラント建設等の自立的展開が予定されており、今後地域活性化に大きく寄与する展開が期待される。

⑤ 農・林・水産業の再生等

つるおか森のキャンパス元気プロジェクト

(山形県鶴岡市)



「森の産直カー」の集荷及び販売ルート



中心市街地の20箇所で移動販売(売上見込み約1000万円:10月~3月)



「森の産直カー」による中山間部の集荷

取組のねらい

中山間地の高齢者農家等の出荷を助け中心市街地で販売する「森の産直カー」を導入し、都市と農村の新たな交流モデルの構築を目指す

平成20年度の主な取組結果

- ・ 10月以降週2日~3日、温海・朝日の両集落から集荷し市街地の20箇所販売
- ・ **出荷経験のない生産農家50名が新たに参加**する等、**集落の所得向上と生き甲斐を創出**(売上見込み約1000万円:10月~3月)
- ・ 都市部の園児給食への利用や漁村との連携など、**交流の裾野も拡大**

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

「産直カー」という新たな産直の形態により、**基礎的条件的に厳しい集落と都市との間の交流拡大と地域内経済の循環システムを構築**しつつあるという点において**先導的**である。

今後は、「森の産直カー」の**自立的な運営体制を確立し、他の地域の参考となるモデルを構築**していくことが期待される。

⑤ 農・林・水産業の再生等

日本のたたみ復活プロジェクト (熊本県八代市)

取組のねらい

QRコードを付した八代産の畳表を普及し、生産者の顔が見え、安全・安心で高い品質を感じられる地域伝統産業のブランド化・差別化を実現する復活モデルを構築。

平成20年度の主な取組結果

- ・**い草の栽培・加工講習会**や**学校教材**を作成・配布し地域ブランドを構築
- ・生産情報提供システムの構築・運用実験と**統一産地表示(QRコード付きタグ)**の流通による品質向上と畳表のトレーサビリティを実証
- ・畳店による**熊本県産畳の指定率向上**を目指す

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

主要な地場産品の「いぐさ」について、**IT化による地域ブランド戦略を展開**することにより、地場産業の振興をはかろうとする取組であり、**QRコードの導入によるトレーサビリティの確保**によって、輸入品との差別化をはかり、消費者の信頼関係を構築しつつある点が高く評価できる。21年度以降は、本年度の成果を活用し**自主的な拡大普及**をはかることによる本格展開が期待できる。

⑥ 観光・二地域居住

日本一の蔵再生によるまちおこし (福島県喜多方市)

蔵の保存と再生

蔵を活用した社会実験

観光入込客数

53.9万人(H19) → 59.3万人(H20)

(9月～12月の対前年比 **5.4万人増 +10%**)

取組のねらい

喜多方市内中心部及び農村部に4,200ある「蔵」の保存と利活用に市民・NPO等が地域を挙げて取組を展開し、観光交流人口の拡大へ結びつける

平成20年度の主な取組結果

- ・**蔵の実態調査(2300棟)**と**登録有形文化財申請(51棟)**、蔵の保存・利活用を目的とした**シンクタンクの創設**検討
- ・**蔵を活用した社会実験**(結婚式、スイーツレストラン、農産物販売等)、観光ルート開発
- ・NPO法人・住民団体・観光協会・建築士会等、**7団体が連携しつつ主体的に展開**
- ・**観光入込客数5.4万人増(+10%)**

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

地域住民・NPO・行政等、**多くの関係者が一丸となって**地域に現存する「蔵」にこだわり、**持続的に保存・利活用していくための検証**を行い、**観光客増を達成**している点において高く評価できる。今後は、継続的な取組に必要な運営体制等を整えたうえで、**年間を通じた観光客・宿泊客増**につながるよう取組を深化させていくことが期待される。

⑥ 観光・二地域居住

こらっしえ稲取大作戦！ローカルエリアプロモーション事業のビジネスモデル確立 (静岡県東伊豆町)



稲取タウンライド



ふのりと足湯のとろとろツアー



ウッドハーニング体験

稲取ならではの**27本の着地型旅行商品**を造成



「カニのひっこり漁体験」を地域住民が指導

地域の**人材力が支える**新たな観光モデルへ

地域の**人材が地域の資源を発掘・活用**



「雑のつるし飾り」を地域住民が語り部として案内

取組のねらい

地域住民が一丸となって着地型旅行商品造成や人材育成に取り組み、自立的な観光地実現のためのビジネスモデルを確立する。

平成20年度の主な取組結果

- ・ 稲取産カーネーションを域内全旅館で活用するなど、**地域をあげた地場産品の利活用が進展**。
- ・ **27本の着地型旅行商品を造成**。大手旅行会社等6社との提携が実現し、旅行商品の販路開拓などが着実に進捗。
- ・ 地域自ら観光人材育成マニュアルを作成し、着地型旅行商品のインストラクターとして**継続的に地域人材を活用**。



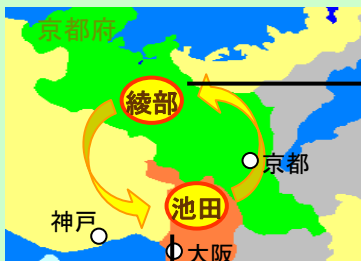
和風旅館に合うように地域で発掘した新種の和風カーネーション「スターチェリー」

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

地域の関係者が**意識改革を図りつつ一丸となって取り組む体制を構築し、担い手となる人材を継続的に育成**することで体制を確固たるものにしようとしているなど、**長期的な視点をもって取り組んだことが高く評価**できる。次年度展開予定の**旅行業のビジネス展開**や**さらなる人材育成**を着実に実施することにより22年度以降の自立的な展開が期待できる。

「ふるさと振興事業」

(京都府綾部市)



あやべ見学ツアー



大阪府池田市における農村都市交流イベント(4,000人来場)



綾部への移住が決まった家族

取組のねらい

人口減少の進む中山間地が都市部との積極的な交流事業を通して、定住や交流人口の拡大を図り、コミュニティ再生を目指す。

平成20年度の主な取組結果

- ・ **都市部での交流イベントを開催し**、「田舎暮らし相談会」等を実施。
- ・ 綾部ファンの拡大に向けて、**農業体験などのあやべ見学ツアーを開催**。
- ・ 空家物件見学会、定住相談会の開催など、**定住に向けたサポートを実施**。空家を提供した田舎暮らし体験ツアーでは27組の家族が綾部暮らしを体験。**6世帯22人の移住が決定**。

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

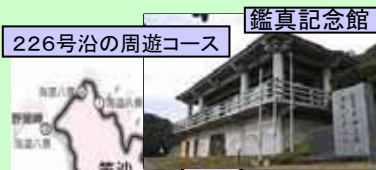
過疎・高齢化のため維持・存続が厳しい農村において、**都市部との積極的な交流事業を展開**しつつ、**定住希望者の掘り起こし、各種サポートの展開による定住・交流人口の拡大を図る取組**は全国の農村集落再生モデルとなりうる先導的な取り組みである。将来にわたる自立的な取り組みを可能とする**経済基盤の構築**に留意することにより、自立的な展開が期待できる。

⑥ 観光・二地域居住

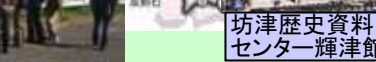
海と大地の資源を活用した産業創生モデル事業(鹿児島県南さつま市)



旅行代理店のツアー担当者等によるモニターツアーの実施



鑑真記念館



坊津歴史資料センター輝津館

→モニターツアーの結果、旅行会社4社が海道八景を活用した旅行商品を企画



取組のねらい

海道八景など、特色ある観光資源を有機的に結びつける旅行商品の企画により、全国に地域の魅力を発信し、観光客の積極的な誘致を図る。

平成20年度の主な取組結果

- ・九州圏内の大手旅行代理店のツアー担当者等によるモニターツアーの実施。旅行会社4社の提出による海道八景(旅行資源)を用いた**旅行商品の企画**。
- ・市内国道226号沿線を中心とする**南さつまを周遊するバスツアー**の実験運行(日帰りバスツアー474名、一泊二日コース77名の参加)

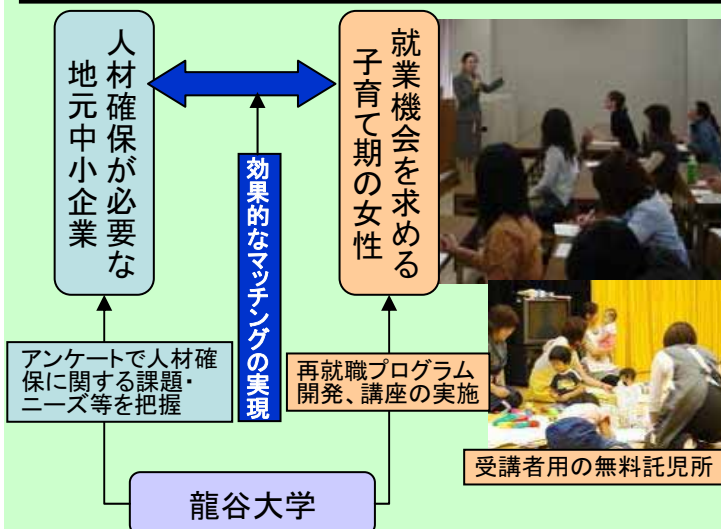
評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

新たな観光ツアー商品の企画により集客を図ることで、地域の活性化を目指す取組であり、**旅行代理店とタイアップしてバスツアー**による観光商品の企画を実現したことは高く評価できる。

21年度以降は**旅行代理店の企画した観光商品**を確実に実現させるよう、**地域全体での支援**とともに、これを**地域の雇用確保や産業育成**につなげる方策の検討・実行が期待できる。

⑦ 雇用・教育

子育てママが生き生き働くまちづくりプロジェクト (滋賀県大津市)



取組のねらい

就業機会を求める子育て期にある女性に焦点をあて、地域の知の拠点である大学が、人材確保に努力する地元中小企業との効果的なマッチングの手段を提供することで、新しい都市型ワークライフバランスモデルを実現。

平成20年度の主な取組結果

- ・地元中小企業の人材確保に関する**課題・ニーズ等を把握**。分析・検証を行い地元企業の活性化、生産性の向上を図る。
- ・子育て期にある女性の地域社会への参画を促すための**プログラム開発**、**託児所を併設した講座**の実施。

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

子育て期にある女性のスキルアップを伴う、企業で必要とする能力育成プログラムの開発・実施により、**雇用のミスマッチを避ける**といった、時代の流れに対応した取組が高く評価できる。

アンケート等によるニーズ把握や課題解決提案がまとまり、21年度以降は**就業フェア・フォーラム**などを実施して**雇用のマッチングを実現**していくこととなり、本年度の成果を活用することにより、継続的な展開が期待できるものである。

⑧ 都市機能

盛岡土産土法(どさんどほう)プロジェクト

(岩手県盛岡市)

Kids café Moog



現代版家守塾



取組のねらい

盛岡市内中心部に子育て世代をターゲットにしたカフェの設置による遊休不動産活用策の提示と、不動産オーナーを対象としたワークショップを両輪としたエリアマネジメントの実現

平成20年度の主な取組結果

- ・まちなかに子育て世代をターゲットにした「Kids café Moog」を設置、保育専門学校や周辺農家とも連携(来客数69名/日、延5000名以上)
- ・遊休不動産オーナーを対象とした、広域エリア再生のためのビジョン・シナリオづくり(現代版家守塾)

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

子育て世代にターゲットを絞る等のアイデアで新たなまちなか遊休不動産活用策を提示した点において、他の中心市街地活性化に取り組む地域にも参考となるモデル性がある。

今後は、面的な広がりにつなげていくべきであり、そのために必要なエリアマネジメント組織を立ち上げ、行政とも一体となって、地区管理方針まで定めていくことが期待される。

鳥取駅前・賑わいのまちづくり実証事業

(鳥取県鳥取市)

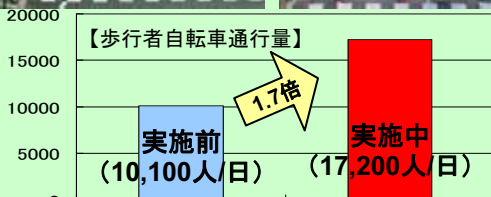


取組のねらい

道路空間のトランジットモール化に併せて地場の天然ロール芝を敷き詰め、市民にとって新たな憩いと賑わい空間を創出し、中心市街地の活性化を図る

平成20年度の主な取組結果

- ・地場の天然ロール芝を活用した、「道路の芝生化」を実現(10日間)
- ・道路空間を活用するため、70を超える団体が参画
- ・実証事業期間中、17,200人/日の歩行者通行量を達成(通常の1.7倍)
- ・来街者の8割が恒常設置を希望



評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

「道路の芝生化」という新たな発想により、これまで人通りの少なかった休日の中心市街地に憩いと賑わい空間を創出した点において、他の地域にも参考となるモデル性がある。

今後は、本格的なトランジットモール化の検討に向けて、官民一体となったルールづくり、運営・管理体制を構築していくことにより、継続的な展開が期待できる。

⑨ 地域コミュニティ・集落のあり方

「ゆいのまちづくり戦略会議」

(愛知県東栄町)



取組のねらい

地域の協働体制の構築により定住支援、高齢・小規模農家の増収・生きがい作りを展開し、山間地の再生を図る。

平成20年度の主な取組結果

- ・ 個別に活動を行っていた地域団体と行政が協働で課題・解決策を包括的に検討。
- ・ 定住者獲得に向けて農業体験講座や田舎暮らしシンポジウムを展開。
- ・ 規格外農産物の直送販売(6品目300kg)を実施。この過程で農家120戸で約5kgの余剰農産物が確認され、都市部の消費者との連携強化に発展する見込み。

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

規格外農産物有効活用、定住者支援等に地域一体となって複合的に取り組んだ。農産物の供給を通じて都市部との連携も図られつつあり、山村と都市の協働モデルを構築しつつある点は高く評価できる。今後は定住者支援を進めつつ、都市部のNPO等の連携を進めることにより、山村と都市の協働モデルの本格展開が期待できる。

伝説が見える・伝わる、観光まちづくり— 三好市東祖谷の平家落人伝説と伝統文化・茅葺き集落など多様な地域資源を、住民と来訪者がともに磨き高め合う新しい歴史観光まちづくり事業 (徳島県三好市)

観光交流プログラム



▲古民家での「かずら籠あみ体験」



▲「わらじ作り体験」

伝統食メニュー開発



▲▼東京から有力シェフを招き地元食材を活用したメニューを開発(22種)



萱葺き古民家の再生



▲古民家調査(10棟)



▲萱葺きワークショップ(のべ148名参加)

取組のねらい

地域に埋もれた伝統文化を資源と捉え、観光・交流人口を増加させ、雇用を創造し、持続可能なコミュニティの確立を目指す。

平成20年度の主な取組結果

- ・ 観光体験プログラム7件を開発。地域のお年寄りを講師に実験ツアーを開催。
- ・ 山岳集落風景で楽しむ伝統的地元食材活用メニュー開発(22種)を実施。
- ・ 空家となっている古民家10件を調査。萱刈・萱葺きワークショップ(のべ148名参加)などにより萱葺き家屋伝承人材を養成。
- ・ 体験観光+食+古民家滞在をサービスの核として提供する運営法人の設立に向けた事業計画の検討。

プログラムの商品化 地元の料理供給体制構築 古民家改修の事業化

各事業の運営を担う法人をH21年度に設立予定

評価の考え方及び次年度以降に向けた所見

基礎的条件の厳しい地域において、萱葺き古民家や伝統食などを貴重な観光資源として捉え直し、事業化を図ることにより観光・交流人口を増やそうとする取り組みは同様の地域のモデルとなる取組である。今後は事業の本格展開を見据え、人材の育成、事業法人設立に向けた体制構築などに取り組むことにより自立的展開が期待できる。